



2026年7月6日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

11,178万kW

11時、111,779 MW (10
エリア同時刻合計)

☀️ 太陽光ピーク

2,258万kW

11時30分、22,576
MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

149万kW

18時、1,492 MW

◇ 再エネ最大需要比

34.3%

12時、需要に対する割合

↔️ 最大受電エリア

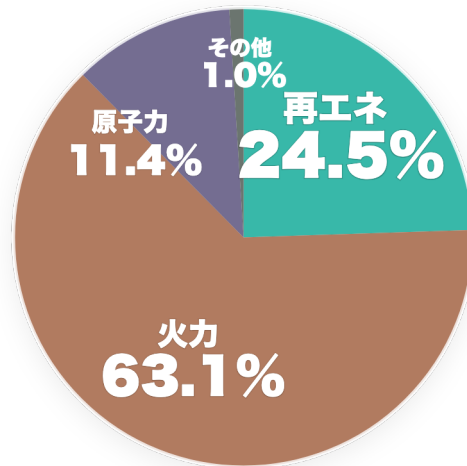
東京

88.6 GWh

↔️ 最大送電エリア

東北

65.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 47.2%

36.8 GWh

出力抑制量

0.6 GWh

最大: 東北 0.6 GWh

揚水・蓄電の充電

22.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:00に3,534万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで47.2%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	24.5%	発電電力量ベース
再エネ発電量	553 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,259 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	34.3%	12時
出力抑制量	0.6 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	22.6 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	47.2%	36.8	0.0	送電 6.8
東北	35.4%	95.4	0.6	送電 65.6
東京	15.9%	99.0	0.0	受電 88.6
中部	27.1%	78.3	0.0	受電 54.0
北陸	38.1%	32.4	0.0	送電 12.9
関西	18.0%	60.5	0.0	受電 42.6
中国	23.5%	39.9	0.0	送電 17.4
四国	25.2%	27.8	0.0	送電 41.8
九州	29.7%	79.2	0.0	送電 18.8
沖縄	11.7%	3.7	0.0	—



2026年7月6日の供給実績

北海道エリア

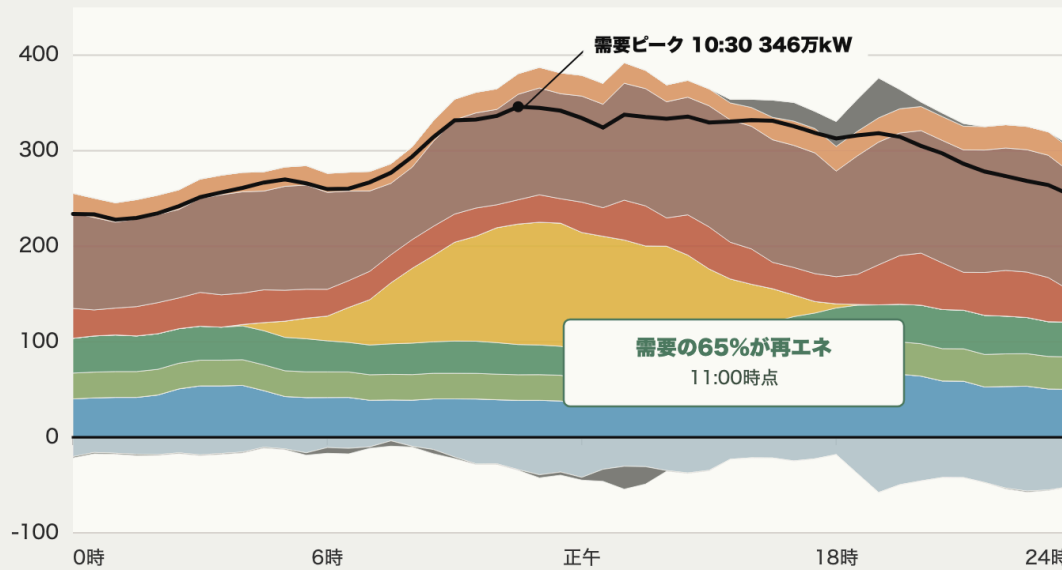
再エネ

36.8GWh

(発電電力量ベース47.2%)

北海道エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)

万kW



発電構成比

総発電電力量: 78GWh

(780万kWh)

再エネ	36.8GWh (47.2%)
太陽光	10.0GWh (12.8%)
水力	11.6GWh (14.9%)
風力	8.3GWh (10.6%)
バイオマス	7.0GWh (8.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.3GWh (10.6%)
石炭火力	26.6GWh (34.2%)
石油等火力	5.2GWh (6.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.0GWh (1.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
— 需要	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

78.0GWh

需要ピーク

10:30、346万kW

連系線・その他

6.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク129万kW、風力ピーク41万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.6%だった。



2026年7月6日の供給実績

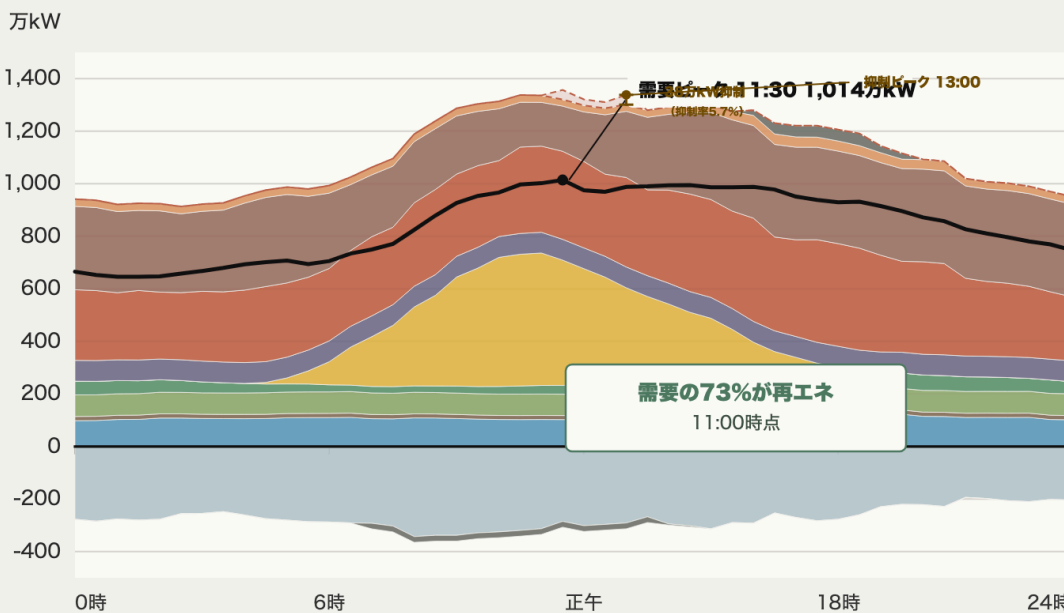
東北エリア

再エネ

95.4GWh

(発電電力量ベース35.4%)

東北エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 269.4GWh
(2,694万kWh)

再エネ	95.4GWh (35.4%)
太陽光	35.4GWh (13.1%)
水力	26.1GWh (9.7%)
風力	10.5GWh (3.9%)
バイオマス	19.6GWh (7.3%)
地熱	3.8GWh (1.4%)
LNG火力	75.2GWh (27.9%)
石炭火力	71.3GWh (26.5%)
石油等火力	7.2GWh (2.7%)
原子力	19.0GWh (7.0%)
揚水・蓄電	1.4GWh (0.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量 0.6GWh

■ 火力 0.6GWh
本家発電可能量の0.4%
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

269.4GWh

需要ピーク

11:30、1,014万kW

連系線・その他

65.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.6GWh

出力抑制

0.6GWh

概況

東北は、太陽光ピーク504万kW、風力ピーク62万kWで、時間別の再エネ最大需要比は74.5%だった。



2026年7月6日の供給実績

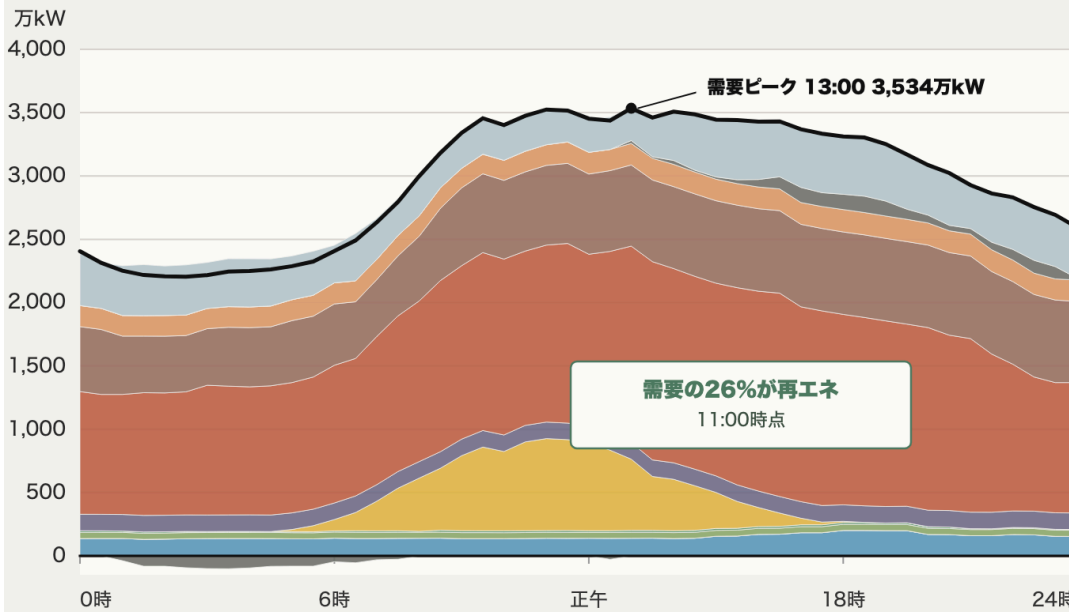
東京エリア

再エネ

99.0GWh

(発電電力量ベース15.9%)

東京エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 624.3GWh
(6,243万kWh)

再エネ	99.0GWh (15.9%)
太陽光	48.6GWh (7.8%)
水力	36.1GWh (5.8%)
風力	2.8GWh (0.4%)
バイオマス	11.5GWh (1.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	307.0GWh (49.2%)
石炭火力	139.5GWh (22.3%)
石油等火力	40.1GWh (6.4%)
原子力	31.3GWh (5.0%)
揚水・蓄電	7.4GWh (1.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

624.3GWh

需要ピーク

13:00、3,534万kW

連系線・その他

88.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク726万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.3%だった。



2026年7月6日の供給実績

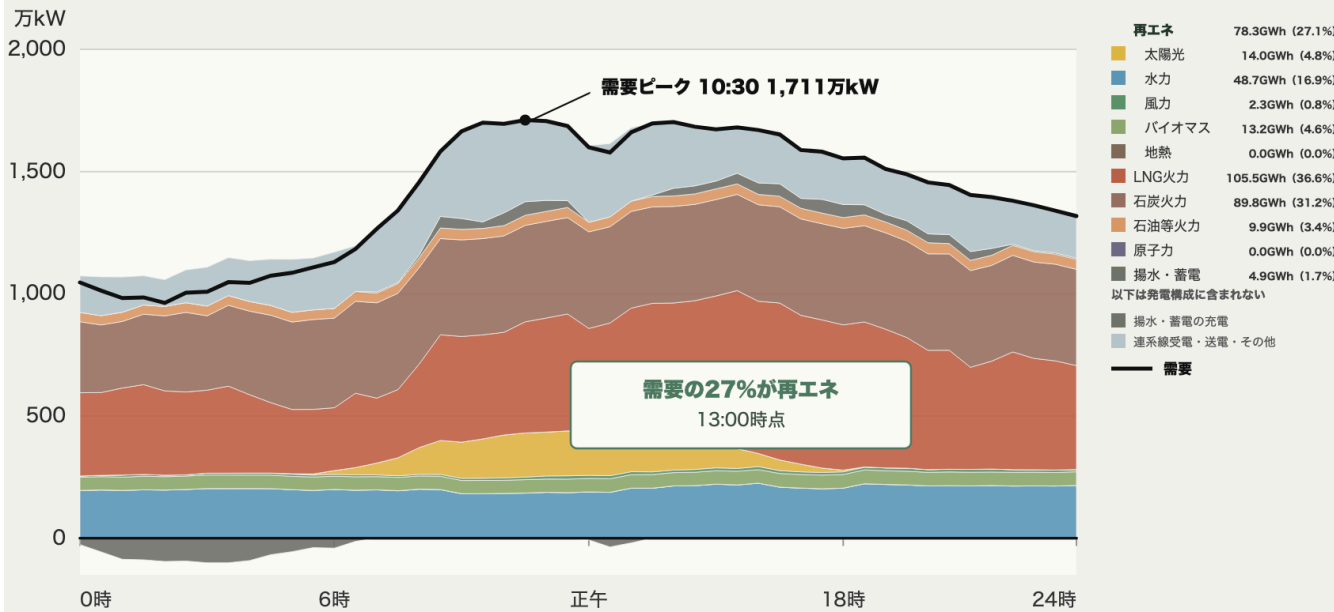
中部エリア

再エネ

78.3GWh

(発電電力量ベース27.1%)

中部エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

288.4GWh

需要ピーク

10:30、1,711万kW

連系線・その他

54.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク184万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.8%だった。



2026年7月6日の供給実績

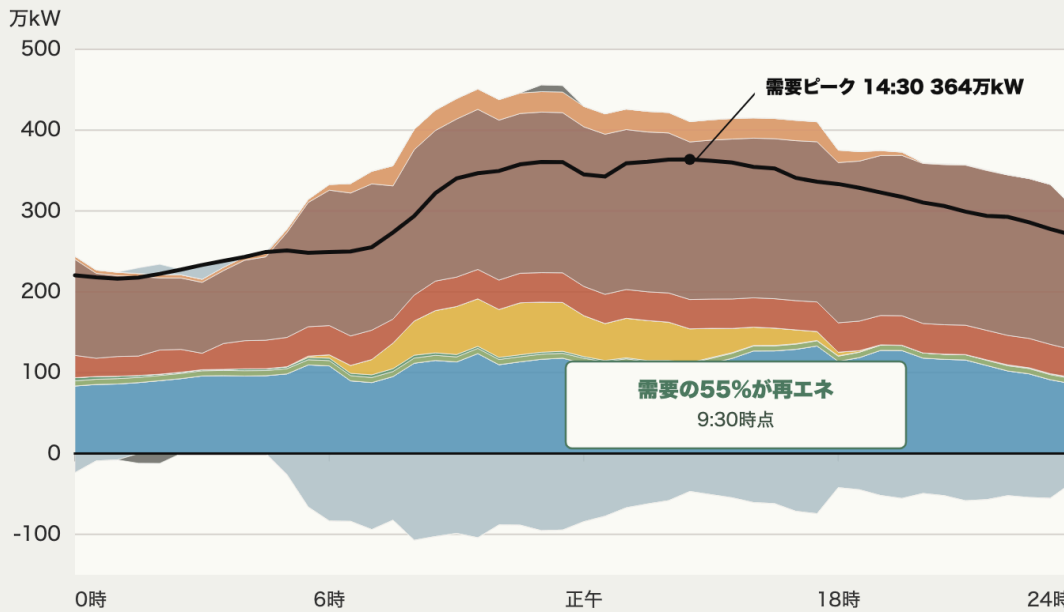
北陸エリア

再エネ

32.4GWh

(発電電力量ベース38.1%)

北陸エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 85.2GWh

(852万kWh)

再エネ	32.4GWh (38.1%)
太陽光	4.8GWh (5.6%)
水力	25.7GWh (30.2%)
風力	0.4GWh (0.5%)
バイオマス	1.5GWh (1.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.2GWh (9.7%)
石炭火力	41.2GWh (48.3%)
石油等火力	3.3GWh (3.8%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
—	需要

出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

85.2GWh

需要ピーク

14:30、364万kW

連系線・その他

13.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク64万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.8%だった。

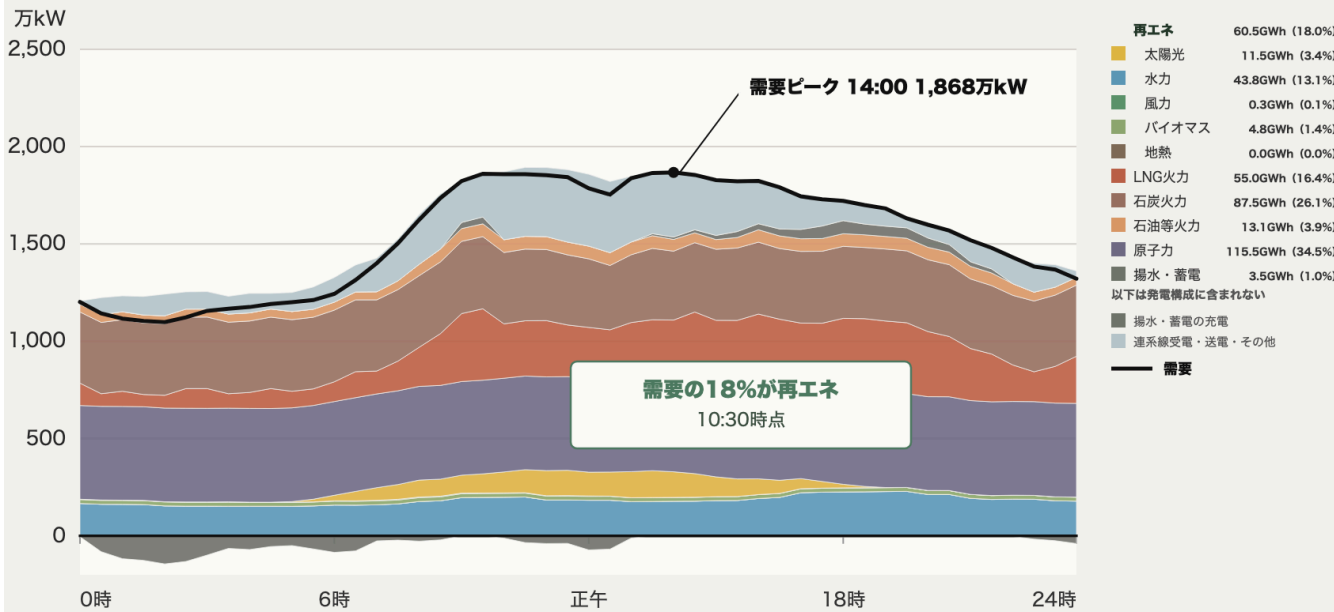


2026年7月6日の供給実績

関西エリア

再エネ
60.5GWh
(発電電力量ベース18.0%)

関西エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
335.1GWh

需要ピーク
14:00、1,868万kW

連系線・その他
42.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
8.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク138万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は18.7%だった。



2026年7月6日の供給実績

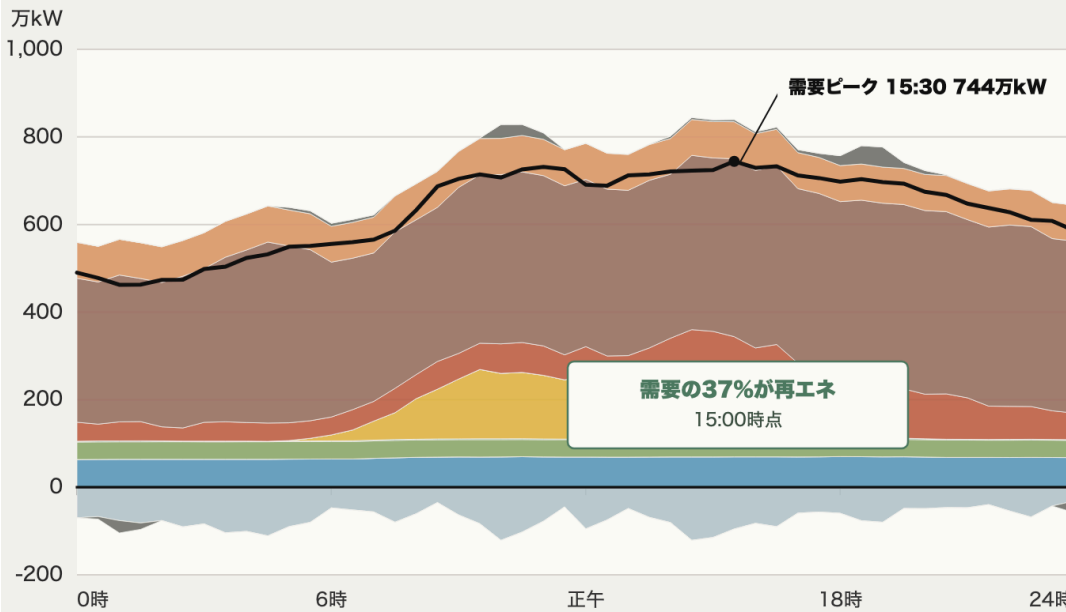
中国エリア

再エネ

39.9GWh

(発電電力量ベース23.5%)

中国エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 170GWh
(1,695万kWh)

再エネ	39.9GWh (23.5%)
太陽光	13.7GWh (8.1%)
水力	16.2GWh (9.5%)
風力	0.5GWh (0.3%)
バイオマス	9.5GWh (5.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	16.5GWh (9.7%)
石炭火力	91.9GWh (54.2%)
石油等火力	19.7GWh (11.6%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.5GWh (0.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

169.5GWh

需要ピーク

15:30、744万kW

連系線・その他

17.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク158万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.7%だった。

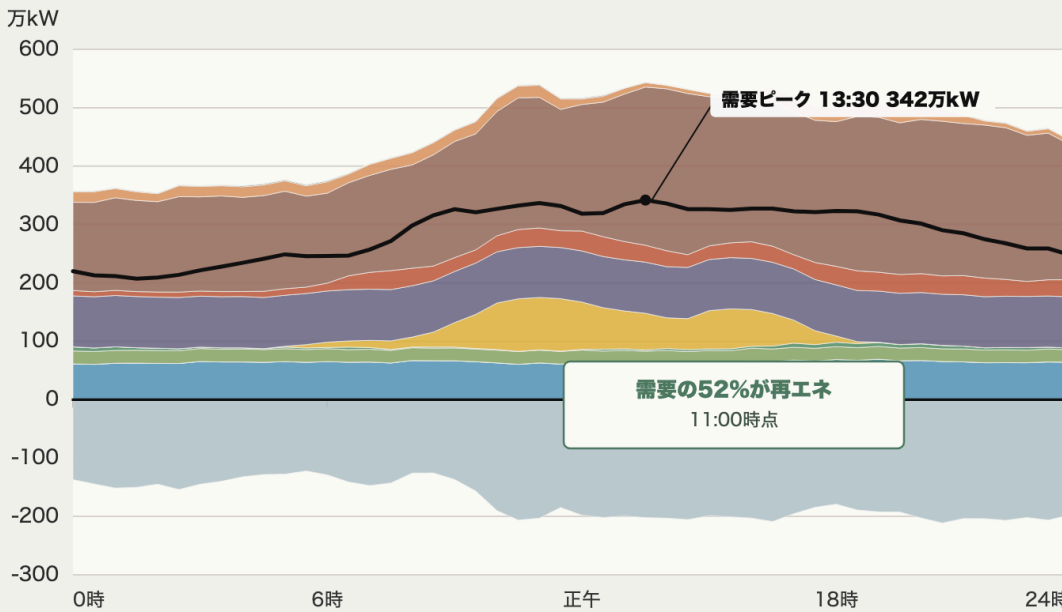


2026年7月6日の供給実績

四国エリア

再エネ
27.8GWh
(発電電力量ベース25.2%)

四国エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 110GWh
(1,102万kWh)

再エネ	27.8GWh (25.2%)
太陽光	6.3GWh (5.7%)
水力	15.4GWh (14.0%)
風力	0.8GWh (0.8%)
バイオマス	5.2GWh (4.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	5.7GWh (5.2%)
石炭火力	51.4GWh (46.7%)
石油等火力	3.9GWh (3.5%)
原子力	21.0GWh (19.1%)
揚水・蓄電	0.3GWh (0.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
—	需要

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

110.2GWh

需要ピーク

13:30、342万kW

連系線・その他

41.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク90万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.5%だった。



2026年7月6日の供給実績

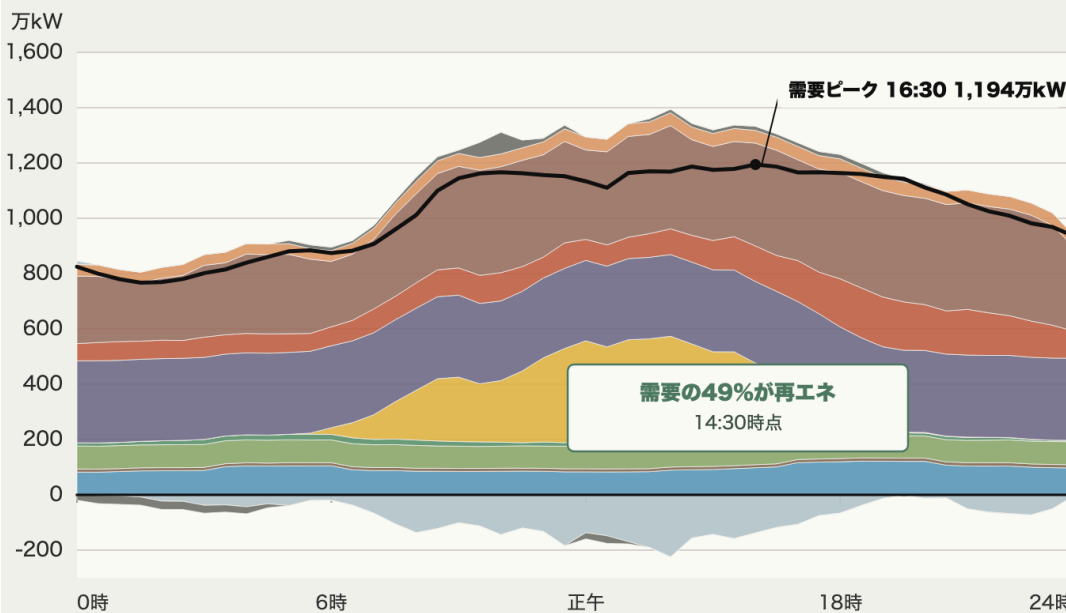
九州エリア

再エネ

79.2GWh

(発電電力量ベース29.7%)

九州エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 267GWh
(2,669万kWh)

再エネ	79.2GWh (29.7%)
太陽光	29.9GWh (11.2%)
水力	23.1GWh (8.7%)
風力	3.8GWh (1.4%)
バイオマス	19.7GWh (7.4%)
地熱	2.7GWh (1.0%)
LNG火力	25.0GWh (9.4%)
石炭火力	78.8GWh (29.5%)
石油等火力	10.6GWh (4.0%)
原子力	70.8GWh (26.5%)
揚水・蓄電	2.5GWh (0.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
—	需要

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

266.9GWh

需要ピーク

16:30、1,194万kW

連系線・その他

18.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク365万kW、風力ピーク31万kWで、時間別の再エネ最大需要比は49.1%だった。



2026年7月6日の供給実績

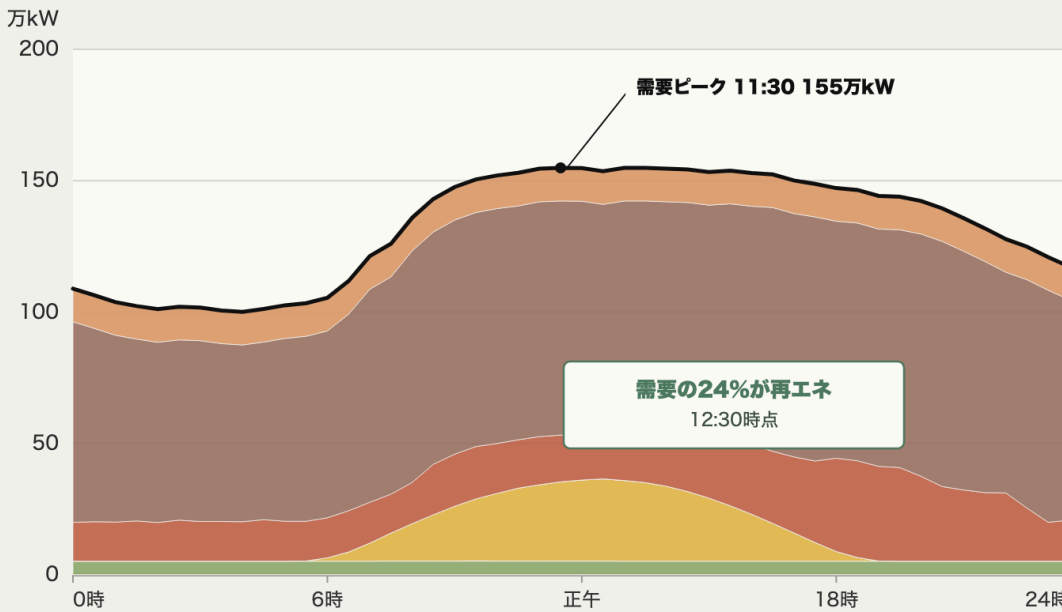
沖縄エリア

再エネ

3.7GWh

(発電電力量ベース11.7%)

沖縄エリア 2026年7月6日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

31.8GWh

需要ピーク

11:30、155万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク31万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.8%だった。